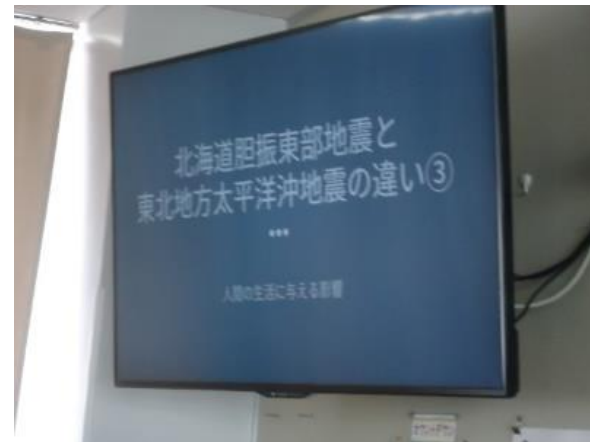
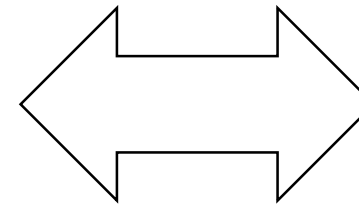


《1年理科》

当時の写真を利用した発表も↓

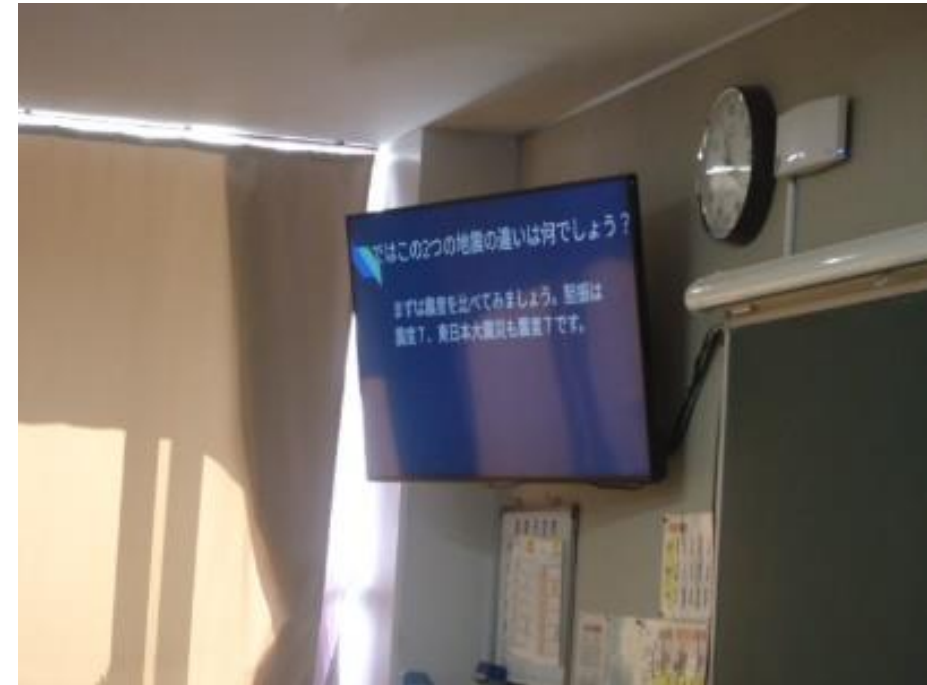
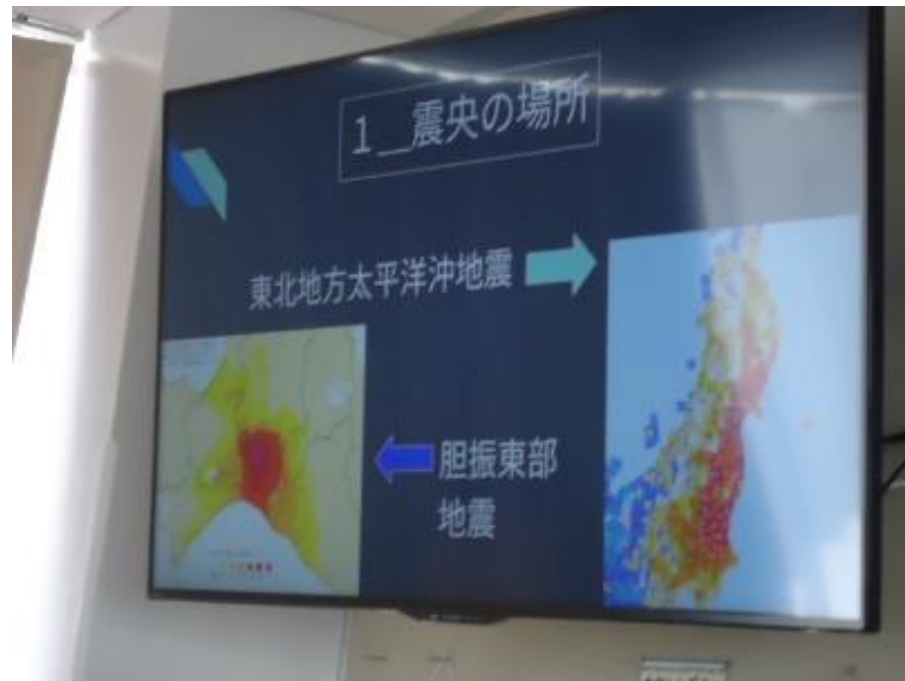


スライド機能を利用して資料を作成学級へ発表を行った。



Google スライドの機能を利用し、東北地方太平洋沖地震と胆振東部地震の違いについて異なる3つの視点（量的、空間的、多面的）を選び、内容を深めてスライドを作成しプレゼンテーション発表会を行った。

2021. 9. 8



スライド機能を利用したことに関する内容

- データや画像を用いることができるため、自分の考察をまとめやすい。画像の挿入が容易
- 「あいタイム」など総合的な学習の時間と連動して、上手なスライドの作り方などをレクチャーした後に授業等で実践することができる、本来の総合的な学習の時間に在り方につながると感じた。
- △スライドの作成に難しさを感じている生徒も少なからずいたため、得意な生徒はまとめやすそうであったが苦手な生徒にとっては、まとめること自体に難しさを感じていた。
- ×個人が作成したものを、全体で共有する方法として、一人一人のタブレットにそのまま写すことができる画面共有が簡単に行えるとよりよい。「ミライシード」だとそれが容易に可能であるため、「ミライシード」への代替が望ましいのではないかと感じる。

レクチャーした内容

- ・文字の挿入の仕方
- ・文字の大きさの変え方
- ・画像の挿入の仕方
- ・ページの増やし方

の4点を教えて、スライドの作成をした。文字の色やアニメーションなどは教えなかったが、生徒は自分で方法をマスターし行うことができている生徒も多かった。

考察・感想

- ・前ページにも書いたように、「ミライシード」で同じような実践をしてみたいと感じた。
- ・緊急事態宣言が適用されている時期なので、個人の活動になったため、まとめる方法に難しさを感じている生徒が少なからずいた。本来であれば、グループで1つのスライドを作成して発表するという協働学習の形式をとったほうが、対話的な場面につながり、充実したものになったのではないかと反省